

# 「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

## 学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。

- ・当該学年で習得すべき計算（たし算、ひき算、かけ算、わり算）ができるようにする。

（自校テストで80%以上にする）

○思考力・判断力・表現力を高める。

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査（算数）「思考力・判断力・表現力」で平成31年度（数学的な考え）より自校の平均正答率を1pt向上させる。

※または自校テスト。

○主体的に学習に取り組む態度を涵養する。

- ・令和3年度さいたま市学習状況調査における「算数の勉強は好きですか」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より、1pt向上させた値にする。

## 具体的な手立て

- ①「ドリルパーク」の学習履歴を活用し、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
- ②学習タイム（業前活動）を活用し、学習内容の定着と計算力の向上を図る。
- ③複数の教員で算数の指導に当たり、個に応じた支援を行う。
- ④算数の授業の指針「大久保スタンダード（算数編）」を示し、一定の水準を保った授業を全学級で行う。

## 結果

- ・自校テストでは、漢字、計算ともに習得率は80%以上であった。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査（算数）「思考力・判断力・表現力」で平成31年度（数学的な考え）より自校の平均正答率が約5pt向上した。
- ・令和3年度さいたま市学習状況調査における「算数の勉強は好きですか」の肯定的な回答の割合が、令和2年度の値を上回らなかった。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

知識・技能、思考力・判断力・表現力等の成果指標を達成することができた。次年度以降も、大久保スタンダード【算数編】をもとに、一定の水準を保った授業を全学級で行う。また、主体的に学習に取り組む態度については、授業において、児童とともに課題を設定し、問題解決の見通しをもたせることで、意欲的に学習に取り組めるようにしていきたい。タブレットパソコンの活用を推進するとともに、学習ログを活用し、さらなる個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていく。